

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、八千代医療センター薬剤部では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方またはそのご家族の方の中で、研究対象者の方の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんやそのご家族の方に不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 新生児集中治療室におけるカルバペネム系抗菌薬の使用と緑膿菌への感受性変化に関する調査

[研究対象者]

2008年4月から2018年3月までの間に、東京女子医科大学附属八千代医療センター新生児集中治療室(NICU)への入院歴があり、その入院中に緑膿菌が検出されカルバペネム系抗菌薬を使用したお子さん

[利用している診療情報等の項目]

在胎週数、出生後日数、性別、体重、カルバペネム系抗菌薬投与量、細菌検査結果、緑膿菌感受性、抗菌薬使用歴、血清クレアチニン、併用薬、治療内容、合併症、在室日数、等

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

カルバペネム系抗菌薬は緑膿菌感染症の治療に使用しますが、その耐性化が懸念されています。NICUでは厳格な感染対策を実施していますが、カルバペネム系抗菌薬に対する緑膿菌の耐性化は深刻な問題に繋がります。本研究は、NICUに入院され緑膿菌が検出されたお子さんについて、カルバペネム系抗菌薬を使用した際の耐性率および耐性化への影響因子を調べることを目的とします。

[利用期間] 倫理委員会承認後より2023年3月までの間 (予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学附属八千代医療センター 薬剤部 薬剤部長代行 小林 恵美子

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属八千代医療センター 薬剤部 薬剤師主任 岡本 剛

電話：047-450-6000 (内線 7273) (応対可能時間：平日 9 時～16 時)

ファックス：047-458-7103

Eメール：okamoto.go@twmui.ac.jp